



河口 修二

NEXT LIVE

2016.12.10 (SUN) 「独演会」



もう何もする気が起きない程疲れ
一日を終える。

TVをつけるのも煩わしくて
無音の空間も味気なくて
そんな時このCDを聴いたら
自分にへばりついた疲労感が
ポロポロ剥がれ落ちて気持ちが和らいた。
何もかも嫌だったはずなのに
これを聴きながら台所に立って
夕飯の支度をする気力が湧いてきた。

優しい音色と温もり溢れる歌に触れてい
ると気を張って日々を送っていた事に気づ
けないほど張り詰めていたんだと、
気づかされたりして・・・。

2006年(たぶん)表参道FABで
「完熟トマト」を初めて聴いた時
完熟トマトに憧れる青年を思い浮かべなが
ら聴いていた。今回アルバムに収録されてい
る「完熟トマト」はゴツゴツした手で握りし
めた成熟したトマトを差し出す
シワシワ笑顔が思い浮かんだ。

歌がどっしりとしている。本当の強さって
こういうことだ。渋いってこういうことなん
だ。きっと。

1st アルバム「LEAF」からの時の
流れや歩みがアルバムの中を感じられ
て、歌がどっしりと深く深く根をは
った印象を受けた。

同じ歌が年月を重ねてこうやって深み
をまして変化していくのが魅力的だ
なって思う。そんな歩みや変化は歌詞に
も表れていて「SUNSHINE」は1st
アルバムの「Sunshine In My
Heart」の発展した形になっている。
「子犬のマスコット」も歌詞の一部が
今の心境を派生されていて、そういう
変遷が包括されていて自分が新たな一
歩を踏み出すときの明るい手掛かりに
なるように感じた。

このアルバムを一言で表すとしたら
日常ってより生活って感じなんだ。
ただただ一日を大切にいこう
ただただそれだけでいいじゃないか
って思わせてくれるアルバム。

(ブログ「STAY OR GO の日々」 河口 修二

2nd アルバム「ESTUARY」感想より抜粋)



大人と呼ばれるお年頃になっても、
誰かに抱きつきたくなっちゃう程の幸せに溢れる日もあれば、
「なんなのさ！」と荒々しい憤りを隠しきれない日や、
心もたない日々を送ることがある。
そんな時私の近くには何も言わなくても、
ただ深く分かってくれる歌や、自分の立ち位置を確認させてくれる歌、
頑なだった想いを緩めてくれる音楽が転がっていて、
心に穏やかさを運んでくれ、
進む道を照らし日々の生活に彩りを添えてくれています。
歌を身近に感じてもらえる魅力的なアーティストに出演をお願いしました。
音楽を通じての出逢いに支えられて第4回目を開催出来る事に感謝します。

SUMIKO (STAY OR GO)